



2019年5月13日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男
(JASDAQ コード: 6666)
問合せ先 執行役員総務本部長 大柴 公基
(TEL. 0551-22-1211)

減損損失の計上および個別業績の前期実績値との差異の計上に関するお知らせ

当社は、2019年3月期において、連結子会社で減損損失を計上することとともに、2019年3月期の通期個別業績につきまして前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

当社の連結子会社である青森リバーテクノ株式会社(本社青森県青森市)及びRiver Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd. (マレーシアイポー)の事業用資産において、収益性が低下したことに伴い減損の兆候が認められ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を備忘価額まで減額し50百万円を減損損失として計上することといたしました。

2. 2019年3月期通期個別業績値と前期実績値との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 4,187	百万円 △184	百万円 △381	百万円 △388	円 銭 △52.64
当期実績 (B)	3,902	△123	△658	△664	△90.10
増減額 (B-A)	△284	61	△276	△276	
増減率 (%)	△6.8	—	—	—	

修正の理由

売上高は、スマートフォン市場においてハイエンド向けは堅調に推移しましたが、中国向けの受注が低迷したほか、無線モジュール向けもスマートフォン関連の受注が伸び悩んだことから減収となりました。

営業利益は、比較的収益性が高い製品が伸びたことにより増益となりましたが、経常利益及び当期純利益は、主として関係会社事業損失引当金繰入額(営業外費用)が339百万円増加したことから減益となりました。

以 上